

春まるかじりツアー

4月2日(水) ~ 4月4日(金)

IN 兵庫県立南但馬自然学校

	午前	午後	夜
1日目	施設まで移動	レクリエーション	ナイトハイク
2日目	野外炊飯	片付け・グループタイム	キャンプファイア
3日目	清掃・思い出工作	施設を出発	

一日目： 四月に入り、新学期に向けて気持ちが浮足立つこの時期。ワクワクした様子で各方面から参加者が集まり、JR尼崎駅に揃いました。元気よく挨拶をして、バスに乗り込み出発です。車内では自然と会話に花が咲いていて、メンバー同士すぐに仲良くなっておられる様子でした。施設に到着すると、まずはみんなでお弁当をいただきます。その後、少しの間自由時間とし、全員で鬼ごっこをして楽しみました。午後になり、いよいよグループのリーダーと対面します。先ほどまでの雰囲気とは打って変わって、まだ見ぬリーダーへの期待と緊張が入り混じった様子で対面の時を待ちました。【対面式】が始まり、リーダーが目の前に並んで自己紹介を始めると、みんな真剣な表情で耳を傾けておられました。自分の担当リーダーが発表されると、嬉しそうなお様子でグループに分かれて行き、和やかな雰囲気で活動がスタートしました。これから三日間共に過ごす仲間との親交を深めるため、まずは広場で【レクリエーション】を行いました。グループで力を合わせるレクリエーションを通して、自然と名前を呼び合い、成功した時にはグループで喜びを分かち合っており、仲が深まった様子でした。沢山競って楽しんだ後は宿泊する棟に入り、オリエンテーションを受けます。ここで過ごすうえでのお約束などを確認し、部屋ごとに分かれてシーツを敷いたり、お風呂の準備をしたりなど、協力して身の回りを整えました。また、空き時間には、リーダーから翌日のキャンプファイアで踊るダンスも教わりました。一日沢山身体を動かしたので、みんなお腹がペコペコな様子で夕食を食べに食堂へと向かいます。美味しいご飯をお腹いっぱい堪能したら、夜のお楽しみプログラム、【ナイトハイク】と【大喜利大会】を行いました。ナイトハイクは、小雨が降る中での実施となりましたが、グループで夜の施設探検を楽しみました。その後の大喜利大会は、瞬間的に面白い回答を出すべくグループで知恵を絞りました。回答で得たポイントは翌日の野外炊飯にも関わってくるため白熱し、終始笑顔が絶えないほど盛り上がりました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、就寝の時間が近づいてきました。入浴を済ませて布団に入ります。明日もワクワクするプログラムが盛り沢山です。おやすみなさい。

二日目： 四月と云えど、山の朝はまだまだ冷え込みます。起床したら、温かい服装に着替えて野外キッチンへと向かいました。この日は朝食作りからスタートです。メニューは【パックドック】で、リーダーから作り方を教わりながら調理に挑戦しました。自分達でご飯を作る事もキャンプの醍醐味の一つです。完成して食べてみると、その美味しさに思わず笑みがこぼれていました。朝食を食べ終えて間もなく、次は昼食作りに移ります。メニューは、みんなが大好きな【カレー】です。今回はただのカレーではなく、昨日のレクリエーションで得たポイントの結果発表が行われ、一位のグループから順にスペシャル食材をゲットしました。カレー作りは、野菜を切ったり、かまどに火を起こしてご飯を炊いたりと役割分担をして、力を合わせて作ります。さっそく担当に分かれると調理を始めました。



調理中、なかなか火おこしが成功しないグループもありましたが、そのようなハプニングが起きてもグループ内で諦めずに取り組んだり、時にはグループの垣根を越えて協力したりと、完成に向けて一丸となる様子が見られました。そうして出来上がったカレーは、普段の何倍も美味しく感じられたことでしょう。片付けでも、その協力精神が発揮され、小さなことでも自分に出来ることはないか探しながら動くメンバーの姿が見られました。片づけを終えたら、一旦部屋に戻って自由時間とし、グループで思い思いの時間を過ごしました。そして、夕食の時間を迎え、昨日と同様に食堂でいただきました。グループごとに食事をしながら談笑する姿が見られ、初日と比べてもより仲が深まったことが伺えました。食後は、お待ちかねの【キャンプファイア】です。メンバーに楽しんでほしいと、リーダーが試行錯誤を重ねて準備したレクリエーションはとても盛り上がりました。そしてラストは、初日に覚えたダンスをみんなで輪になって踊りました。楽しかったキャンプファイアの余韻がまだ残る中、入浴をして部屋に戻ると、すぐに眠りについておられました。



三日目： あっという間に最終日の朝を迎えました。起床後、全員広間に集まると、机を囲んで朝食をいただきます。朝食を終え、宿泊した部屋や共有スペースの掃除を行いました。みんなで使った部屋を掃除していると、様々な思い出がよみがえってきます。少し寂しさを感じながらも、感謝を込めて隅々まで掃除しました。全員の協力のお陰であっという間に片付き、宿泊棟を後にすると、最後のプログラム、【思い出工作】の時間です。ガスバーナーの使い方についてレクチャーを受け、リーダーに見守られながら一人一枚ずつ丁寧に板を焼きます。その板をたわして磨くと、きれいな木目が浮かび上がりました。そこに三日間の思い出を描きます。キャンプファイアや野外炊飯など、思い思いに印象に残った出来事を書いておられ、いつかその板を見返した時に、グループで過ごした記憶が思い出されるような、素敵な作品が出来あがっていました。完成した作品を持って記念撮影をしたら、昼食を食べに食堂へ向かいます。食事をしながら、グループリーダーと一緒に過ごす最後のひと時を楽しみました。施設を出発する準備を整え、遂にお別れの時間がやって来ました。三日間を共に過ごしたリーダーに感謝の言葉を伝えて、バスに乗り込みます。最後は、「またね～！」と大きく手を振って、解散へと出発しました。今回のキャンプを通して、「リーダー」に憧れを抱いた方もおられたようです。次の春には、また違った立場で再会するかもしれません。そんな新たな期待を胸に、尼崎で全体解散した後、それぞれの帰路へ就きました。

<キャンプ総括>

この度は、スプリングキャンプ“春まるかじりツアー”にご参加いただき誠に有難うございました。このキャンプでは、各グループを【Jr.リーダー】が担当しました。Jr.リーダーの中には、普段日帰り定例活動にメンバーとして参加していて、まるかじりメンバーにとって顔馴染みのある方もおられました。それ故に、このキャンプでは名前も立場も違うということに、少し驚きと戸惑いの表情を浮かべるメンバーもいました。初めは距離感が掴めず、ソワソワされる方もおられましたが、Jr.リーダーが一生懸命にメンバーと接する姿を見て、まるかじりメンバーも、それに対して真剣に応えようとする姿勢の変化が伺えました。それは、Jr.リーダーにとって大変嬉しかったことと思います。最終日、Jr.リーダーとの別れ際には、「いつかまた会える？」と問う声が聞こえてきました。別れを惜しむほど、三日間で沢山の思い出が出来たのだと思います。Jr.リーダーの姿から学んだことを、今後も大切にしていきたいです。来年度のキャンプでは、今回のまるかじりメンバーから新たなJr.リーダーが誕生することを心待ちにしております。（生田 千恵）